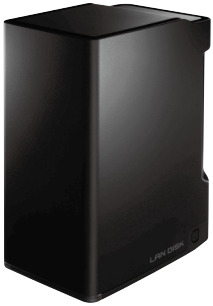
I-O DATA

取 扱 説 明 書

ネットワークハードディスク

HDL-ARTシリーズ、HDL2-ARTシリーズ



●お買い上げ時のレシート・領収書は大切に保管してください。
ご購入年月日の証明になります。
詳しくは【ハードウェア保証規定】（58ページ）をご覧ください。
●【安全のために】、【使用上のご注意】を必ずご確認ください。（48～54ページ）

B-MANU202256-01
M-MANU201492-01

はじめに
導入する
ネットワークアクセス
外出先からアクセス
録画する
その他の使い方
仕様
お守りください
アフターサービス

もくじ

はじめに
内容物を確認する……4

導入する
設置する……5
設定画面を開く……7
電源を切るときは……10

ネットワークからアクセスする
Windowsの場合……12
Mac OSの場合……13

外出先からアクセスする
スマートフォン・タブレットの場合……15
パソコンの場合……23

録画する
本製品に直接録画する……29
本製品にダビングする……30
本製品内の番組を再生する……31

その他の使い方
本製品を活用する……32
ソフトウェアをダウンロードする……33

仕様
動作環境……34
各部の名前・機能……36
ランプ表示一覧……40
ブザー……41
内蔵HDDの交換(2ドライブモデルのみ)……43

お守りください
安全のために……48
使用上のご注意……52

アフターサービス
お問い合わせについて……56
修理について……57
ハードウェア保証規定……58

はじめに

【重要】定期的にバックアップしてください

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」してください。
本製品または接続製品の保存データの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

●バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD、BD/DVD など) にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。)
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップしてください。

【重要】最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

内容物を確認する

□本体(1 台)
□ACアダプター（1 本)
□電源コード(1 本)
□LANストレートケーブル(1 本)
□Remote Link 設定シート(1 枚)
☑取扱説明書(本書)

シリアル番号(S/N) をメモしてください

シリアル番号(S/N) は本製品に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例:ABC9876543ZX)シリアル番号(S/N)は、添付ソフトウェアをダウンロードする際などに必要です。

■ユーザー登録　https://ioportal.iodata.jp/
■ダウンロード　http://www.iodata.jp/lib/

2ドライブモデルのオプション品

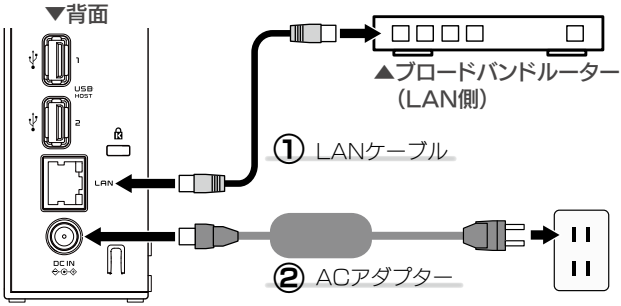
内蔵ディスク故障時は、以下の交換用HDDをお買い求めください。
品名　HDLOPシリーズ
(ご注意) HDLOP-Hシリーズは非対応です。
※最新情報は、弊社ホームページ(**http://www.iodata.jp/**)でご確認ください。
※上記オプション品以外のご使用は動作保証対象外です。
※本製品に対する指定容量の交換用内蔵ディスクをお使いください。
※交換用内蔵ディスクには、RAIDシステムが入っていません。また、交換用内蔵ディスクでRAIDを再構築することはできません。

導入する

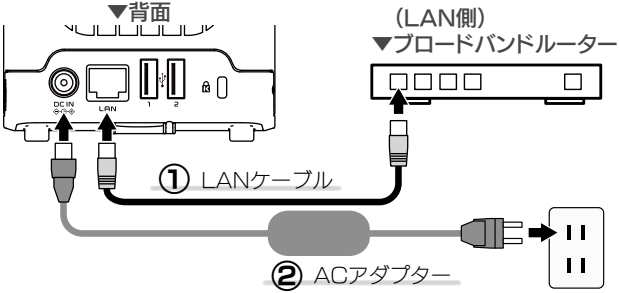
設置する

1 つなぐ

1ドライブモデルの場合

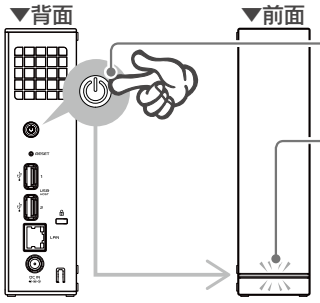


2ドライブモデルの場合

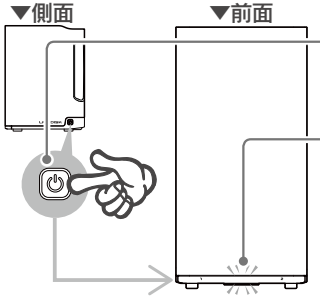


2 電源を入れる

1ドライブモデルの場合



2ドライブモデルの場合



電源が入らない
ACアダプターが正しくつながっているかご確認ください。

これで本製品が設置され、起動しました。

設定画面を開く

1 本製品と同じネットワークにつないでいるパソコンを起動する

2 「Magical Finder」をダウンロードする

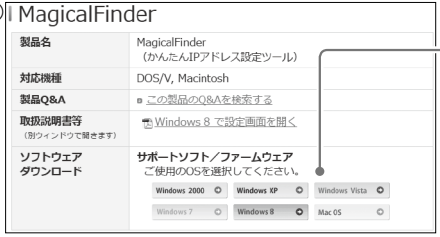
※最新バージョンのMagical Finderをご利用ください。

Magical Finderのダウンロード方法

①「サポートライブラリ」にアクセスする

http://www.iodata.jp/r/3022

②「MagicalFinder」

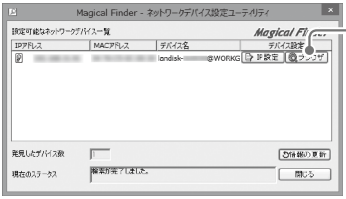


お使いのOSをクリック

③ダウンロードしたファイルを解凍する

3 「Magical Finder」を起動する

4



［ブラウザ］をクリック

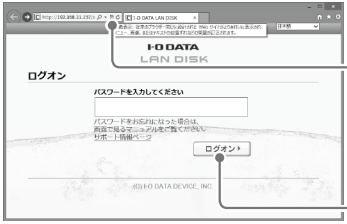
本製品が見つからない場合

- 本製品の電源が入っていることをご確認ください。
- 本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認ください。
- [情報の更新] をクリックし、30秒ほどお待ちください。
- セキュリティーソフトのファイヤウォール機能を解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティー機能を解除してご確認ください。詳しくは、セキュリティーソフトメーカーにお問い合わせください。

本製品がどれか分からない場合

出荷時設定の場合には、「LANDISK-xxxxxx」の[ブラウザ]をクリックしてください。xxxxxxは本製品底面に貼られたシールに記載されたMACアドレスの下6桁と同じです。

5



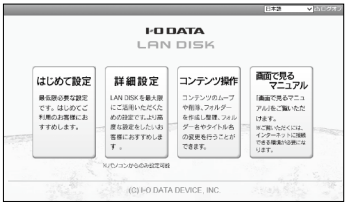
① Internet Explorer 9/10の場合は、をクリック

② [ログオン]をクリック

時刻が正しくないと表示された場合

本製品とパソコンの時刻にズレがあります。パソコンの時刻を調整してください。[本製品は、タイムサーバーから時刻を取得する設定です。(出荷時)]

6 設定画面が表示される



本製品のデバイス名、IPアドレス、時刻などを設定する

[はじめて設定] をクリックし、画面の指示にしたがってください。
詳しくは、『画面で見るマニュアル』をご覧ください。(32ページ)

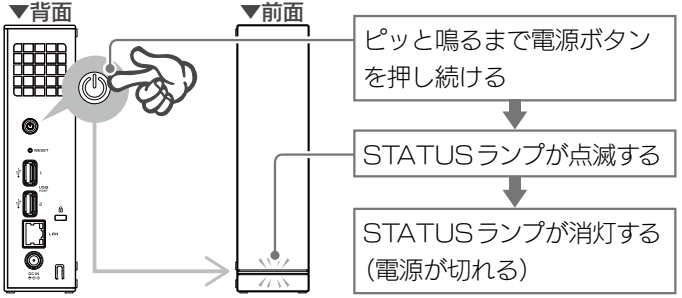
RAIDモードを変更する(2ドライブモデルのみ)

出荷時には、[RAID 0 (ストライピング)] に設定されています。
[RAID 1 (ミラーリング)] にしたい場合は、[詳細設定]→[システム]→[ディスク] →[フォーマット] でフォーマットし、RAIDモードを変更できます。
詳しくは、『画面で見るマニュアル』をご覧ください。(32ページ)
※[RAID 1] への変更は、2Tバイトモデルで約3時間掛かります。

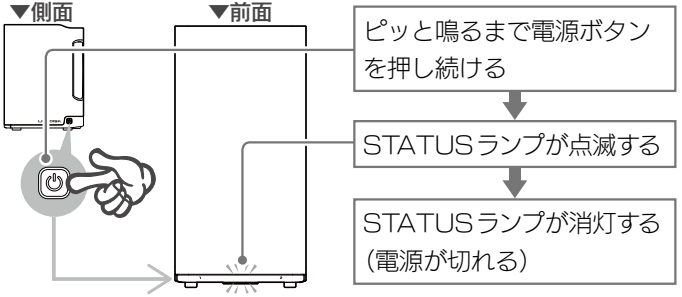
電源を切るときは

必ず以下の方法で電源を切ってください。

1ドライブモデルの場合



2ドライブモデルの場合



長期間使わない場合

ACアダプターをコンセントから外しておくことをおすすめします。

ネットワークからアクセスする

▶Windowsの場合 12
▶Mac OSの場合 13

本製品にアクセスできない

- 本製品の電源が入っているか確認してください。
  (電源が入っている場合、STATUSランプが点灯しています)
- LANケーブルがLANポートにつながっているか確認してください。
  (パソコンを接続しているポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)
- セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を無効にすると検索される場合があります。詳しくは、セキュリティソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- お使いのパソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品のIPアドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレス(セグメント)が合っていないことが考えられます。本製品のIPアドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定してください。
- パソコンに複数のLANポートがある場合は、本製品と通信するLANポート以外を無効にしてお試しください。
  ※無線LAN接続をしている場合は、一時的に有線LAN接続をしてお試しください。

Windows の場合

Windows 8の場合

デスクトップモードにします。

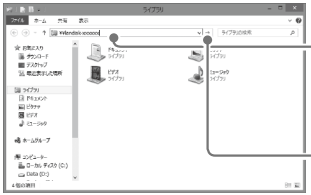
1

クイックバーのエクスプローラーをクリック

Windows Vistaの場合

クイックバーにアイコンがありません。
[スタート] →[コンピュータ] をクリックしてください。

2



① 「¥¥landisk-xxxxxx」と入力

② [→]をクリック
※ [Enter] キーを押してもアクセスできます。

「¥¥landisk-xxxxxx」について

※xxxxxxは、MACアドレスの下6桁です。
※本製品の「LAN DISKの名前」を変更した場合は、¥¥の後に変更した名前を入力してください。

Mac OS の場合

1 本製品のIPアドレスをメモする

> **IPアドレスの調べ方**
> Magical Finder（7ページ参照）で表示されます。

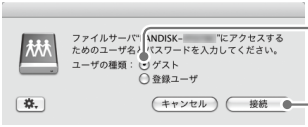
2 [移動] メニュー→[サーバへ接続] をクリック

3

① 「afp://本製品のIPアドレス/」と入力

② [接続] をクリック

4



① [ゲスト] を選ぶ

② [接続] をクリック

5

① [disk] を選ぶ

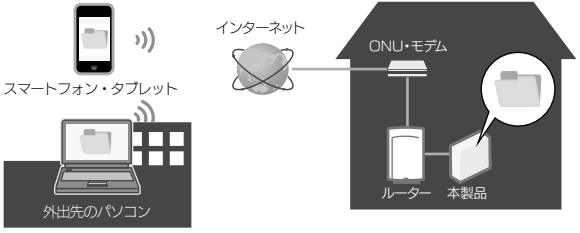
② [OK] をクリック

外出先からアクセスする

外出先から、共有フォルダーへアクセスする方法を説明します。

※本製品がインターネットにつながっている必要があります。

▶スマートフォン・タブレットの場合 15
▶パソコンの場合 23



スマートフォン・タブレットの場合

初期設定する

1 添付の「Remote Link設定シート」を準備する

2 スマートフォン・タブレットに、「Remote Link Files」をインストールする

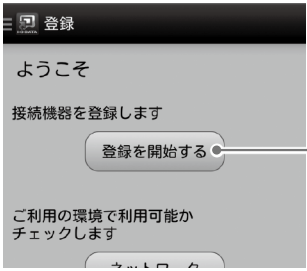
※設定シート（表面）のQRコードを読み取るか、Google playやApp Storeで検索してください。

3

[Remote Link Files]をタップ

スマートフォン・タブレットの場合

4



[登録を開始する] をタップ

5

[QRコードで登録] をタップ

6

Remote Link設定シート**裏面**のQRコードを読み取る

7

登録された接続機器をタップ

ヘルプを見る

左上をタップすると、サブメニューが開きます。
そこからヘルプを見ることができます。

iOSの場合

証明書のインストールを求められます。
画面の指示にしたがってください。

「PINコードが間違っています」と表示された

「Remote Link設定シート」は使えなくなっています。

すでに初期設定したスマートフォン・タブレットがある場合

【2台目以降のスマートフォン・タブレットを初期設定する】（18ページ）をご覧ください。

それ以外の場合

以下の手順をお試しください。

①詳細設定画面を開く

②[サービス]→[Remote Link3設定]を開き、QRコードを表示する

③手順3（15ページ）から開始し、手順6では②で表示したQRコードを読み込む

スマートフォン・タブレットの場合

8 「Remote Link3機能を有効にします」と表示されたら、[OK] をタップ

ログインできない

●ルーターのUPnPが有効になっていることを確認してください。
弊社製ルーターのUPnP対応は、こちらをご覧ください。
http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_function.htm#list4

2台目以降のスマートフォン・タブレットを初期設定する

初期設定に使った「Remote Link設定シート」は、セキュリティーのため、使えなくなります。
※「Remote Link設定シート」は大切に保管してください。
（本製品をリセットした場合に、使います。）
そのため、初期設定が終わったスマートフォン・タブレットでアクセス用QRコードを表示させ、読み取ります。

●初期設定が完了した側
①画面右上の[編集] をタップ
②ログインする接続機器をタップ
③[この接続機器を共有する] をタップ
⇒QRコードが表示されます。

●初期設定する側
手順2から開始し、手順6で表示したQRコードを読み込んでください。

アクセスする

初期設定直後は読み飛ばしてください

初期設定直後は、本製品にアクセスした状態です。
次の【Androidで操作する】（20ページ）または【iOSで操作する】（21ページ）をご覧ください。

1

[Remote Link Files]をタップ

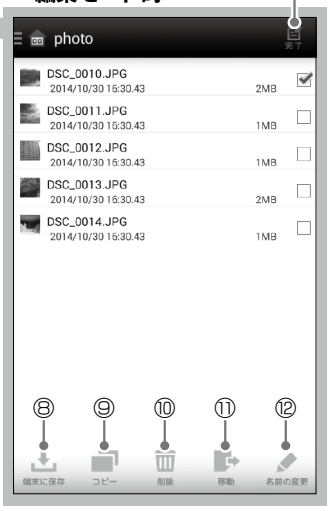
2

登録された接続機器をタップ

Android で操作する

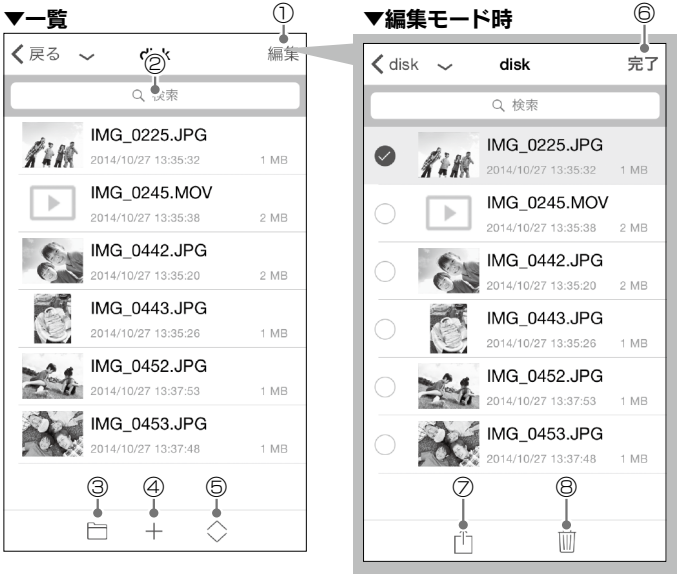
▼一覧

▼編集モード時



①編集モードに移行します。
②お使いの端末内のファイルを、本製品に保存します。
③現在の場所に新しくフォルダーを作ります。
④ファイル名で検索できます。
⑤ファイル名、更新日時、サイズで並び替えできます。
⑥本製品からログアウトします。
⑦編集モードを終わります。
⑧選んだファイルを、お使いの端末に保存します。
⑨選んだファイルを本製品内にコピーします。
⑩選んだファイルを削除します。
⑪選んだファイルを本製品内に移動します。
⑫選んだファイルやフォルダーの名前を変更します。

iOS で操作する



①編集モードに移行します。
②ファイル名で検索できます。
③お使いの端末内に保存したデータを参照します。
④お使いの端末内のファイルを、本製品に保存したり、現在の場所に新しくフォルダーを作ります。
⑤ファイル名、更新日時、サイズで並び替えできます。
⑥編集モードを終わります。
⑦選んだファイルを、端末保存/コピー/削除/移動/名前の変更できます。
⑧選んだファイルを削除します。

使用中にエラーが発生する

いったんログアウトし、しばらく待ってからログインしてください。それでもエラーが表示される場合は、Remote Link 3設定を確認してください。

コンテンツを再生できない

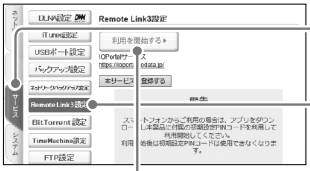
- インターネット回線の状態によってはスループット不足によりコンテンツの再生が正常におこなえない場合があります。
  インターネット環境は光回線（10Mbps 以上の通信速度を維持できること）を推奨します。
- お使いのスマートフォン・タブレットの対応拡張子をご確認ください。
- Remote Link Filesの対応拡張子をご確認ください。
  （Remote Link Filesのヘルプをご覧ください。）

パソコンの場合

初期設定する

1 本製品の詳細設定画面を開く(7ページ)

2



① [サービス]をクリック

② [Remote Link3設定] をクリック

③ [利用を開始する] をクリック

[利用を開始する] が表示されていない

先にスマートフォン・タブレットで初期設定した場合は、表示されません。その場合、手順3にお進みください。

3

PINコードをメモする

PINコードについて

アクセスする際に、入力が必要です。(24ページ手順3 ②)
PINコードは長いので、メモ帳などにコピーしておくことをおすすめします。

アクセスする

1 **http://rm3.iobb.net** にアクセスする

※ブックマークしておくことをおすすめします。

2

画面下に上のように表示された場合は、[ファイルを開く] をクリック

保存して便利に開く

「remotelinkfiles.jar」を保存し、ファイルを実行するだけで起動できます。

※定期的に保存しなおすことをおすすめします。

3

① [ユーザー名] に「remote」と入力

※ [パスワード]は入力不要です。

② [PINコード] を入力

③ [ログイン] をクリック

ログインできない

●PINコード、ユーザー名、パスワードが間違っていないか、ご確認ください。
特に、PINコードについては、【初期設定する】（23ページ）をご覧になり、再度ご確認ください。

●ルーターのUPnPが有効になっていることを確認してください。
弊社製ルーターのUPnP対応は、こちらをご覧ください。
http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_function.htm#list4

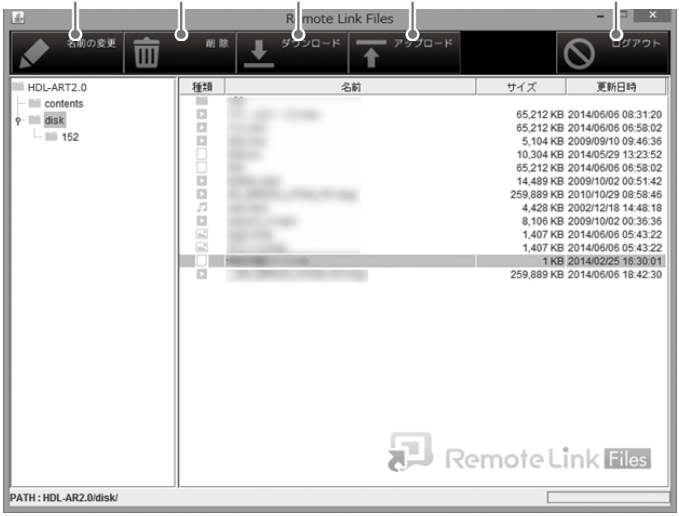
接続制限をする

ユーザー「remote」は初期設定確認用です。
共有フォルダーの設定や、新規ユーザーを追加する場合は、『画面で見るマニュアル』をご確認ください。（32ページ）

外出先からアクセスできなくなった

●インターネットにアクセスできるかご確認ください。
●しばらく時間を置いてから、またアクセスしてみてください。
●本製品のRemote Link3設定を[有効] に設定してください。

操作する



①選んだファイルやフォルダーの名前を変更します。
②選んだファイルやフォルダーを削除します。
③選んだファイルやフォルダーをダウンロードします。
④お使いのパソコン内のファイルを、本製品に保存します。
⑤本製品からログアウトします。

使用中にエラーが発生する

いったんログアウトし、しばらく待ってからログインしてください。それでもエラーが表示される場合は、Remote Link 3設定を確認してください。

コンテンツを再生できない

- インターネット回線の状態によってはスループット不足によりコンテンツの再生が正常におこなえない場合があります。
  インターネット環境は光回線（10Mbps 以上の通信速度を維持できること）を推奨します。
- お使いのパソコンの対応拡張子をご確認ください。

録画する

テレビ等を操作して、本製品に録画・ダビングしたり、録画した番組を再生します。
テレビ等の取扱説明書をご用意ください。

【録画する】の内容は弊社でサポートしておりません

テレビ等の操作については、各メーカーにお問い合わせください。

動作確認機器はこちら

動作確認機器は、弊社Webページをご覧ください。

http://www.iodata.jp/dtcpip/

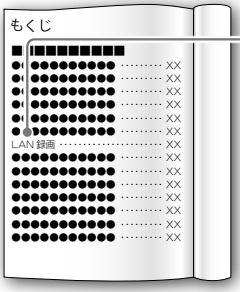
コンテンツ操作設定画面で録画番組の操作ができます

- ●他の機器にムーブする（ネットワーク転送）
- ●フォルダーを作成する
- ●フォルダー名/タイトル名を変更する
- ●フォルダー/コンテンツを削除する
- ●コンテンツを移動する

詳しくは、『画面で見るマニュアル』をご覧ください。（32ページ）

本製品に直接録画する

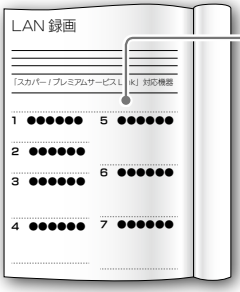
1 ▼テレビ等の取扱説明書



もくじを開き、「録画」関連のページを探す
※ 項目例を参考にしてください。

項目例
- ●LAN録画
- ●録画する
- ●スカパー !HD録画
- ●録画しよう

2

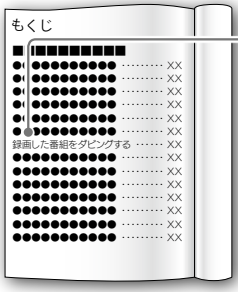


操作方法のページを開き、手順を確認する

本製品の呼称例
- ●ネットワーク録画機器
- ●ブルーレイディスクレコーダー
- ●「スカパー !HD録画」対応録画機器
- ●「スカパー!プレミアムサービスLink」（録画）対応機器（LAN録画対応機器）

本製品にダビングする

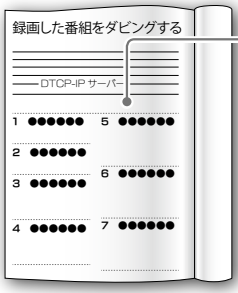
1 ▼テレビ等の取扱説明書



もくじを開き、「ダビング」関連のページを探す
※ 項目例を参考にしてください。

項目例
- 録画番組を他の録画機器にダビングする
- ネットワーク上の機器にダビングする
- サーバーやレコーダーにダビングする

2

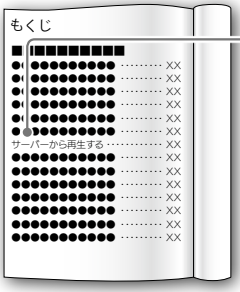


操作方法のページを開き、手順を確認する

本製品の呼称例
- DTCP-IP対応サーバー
- レコーダー
- ネットワーク上の機器
- AVネットワークダビング対応機器
- ダビング対応機器

本製品内の番組を再生する

1 ▼テレビ等の取扱説明書

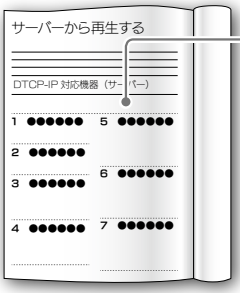


もくじを開き、「再生」関連のページを探す
※ 項目例を参考にしてください。

項目例

- ●サーバーから再生する
- ●録画した番組を再生する
- ●ホームネットワークの映像を再生する
- ●パソコン（PC）などに保存した写真や音楽、映像をテレビで楽しむ
- ●DLNA接続で再生する

2



操作方法のページを開き、手順を確認する

本製品の呼称例

- ●DTCP-IP対応機器（サーバー）
- ●DLNAサーバー
- ●ネットワーク機器
- ●ブルーレイディスクレコーダー
- ●メディアサーバー
- ●ホームサーバー機能を持つ録画機器

その他の使い方

本製品を活用する

次のようなことをする場合は、『画面で見るマニュアル』をご覧ください。

- 共有フォルダーを作成したり、アクセス設定をする
- クラウドストレージサービスと同期する
- バックアップする
- DLNAサーバー、iTunesサーバー機能を利用する
- 出荷時設定に戻す
- RAIDモードを変更する(2ドライブモデルのみ)
- その他、疑問やトラブルがあった場合

画面で見るマニュアルを見る

①以下のサポートライブラリにアクセスする

http://www.iodata.jp/lib

②型番を検索し、画面で見るマニュアルを見る

ソフトウェアをダウンロードする

下のようなソフトウェアをダウンロードして、お使いいただけます。

- カスタマイズバックアップソフトウェア 「EasySaver 4LE」
- ファイル同期ユーティリティー 「Sync With」
- USB機器共有ソフトウェア 「net.USBクライアント」
- デジタルテレビ番組再生ソフトウェア
  「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」

ダウンロード方法

弊社サポートライブラリより、本製品の型番（箱や本製品に記載）を検索してください。

http://www.iodata.jp/lib/

サポートについて

「DiXiM Digital TV plus for I-O DATA」は、当社でのサポート対象外です。
詳しくは、ダウンロードページをご覧ください。

仕様

動作環境

本製品は、「LAN インターフェイスを搭載し、TCP/IP が正常に動作する機器」に対応しています。以下の機種のみサポート対象です。

※ 本製品の基本機能の動作環境です。利用するソフトウェアによっては動作環境が異なります。詳しくは、弊社ホームページをご覧ください。

▼ パソコン

Windows パソコン	Windows 8.1(32/64 ビット版)※1※2 Windows 8(32/64 ビット版)※1※2 Windows 7(32/64 ビット版) Windows Vista(32/64 ビット版) Windows Server 2012/R2※3※4 Windows Server 2008/R2※3※5 Windows Server 2003 SP1/R2※6※7 Windows RT※1※2※8
Mac	Mac OS X 10.8 ～ 10.10

※ 対応 OS は、日本語版のみです。
※ 設定画面の表示言語を日本語以外に変更した場合、サポート対象外となります。
※ ファームウェア、サポートソフトは最新版をご利用ください。
※1 設定画面はデスクトップモードで、インターネットエクスプローラーの互換モードを有効にしてご利用ください。
※2 Windows にて Microsoft アカウント(@が含まれるアカウント)で使用する場合は、以下の弊社ページをご確認ください。
http://www.iodata.jp/lib/manual/pdf2/landisk-win8_20140110.pdf
※3 本製品上に作成した共有フォルダーへのアクセス、および ActiveDirectory ログオン機能のみ対応し、添付ソフトウェア、Web ブラウザーによる設定画面操作など、その他機能はサポート対象外となります。

※4 Standardのみ対応、フルインストールのみ対応しています。
※5 Standard/Enterpriseのみ対応しています。Server Coreモードには対応していません。
※6 本製品上に作成した共有フォルダーへのアクセス、およびNTドメインログオン・ActiveDirectoryログオン機能のみ対応し、添付ソフトウェア、Webブラウザーによる設定画面操作など、その他機能はサポート対象外となります。
※7 Standard（32ビット）／ Enterprise（32ビット）のみ対応しています。
※8 Windowsファイル共有サービスのみ対応しています。

▼ スマートフォン・タブレット端末

iPhone/iPad/iPod touch	iOS 7.0 ～ 8.0
Android搭載スマートフォン	Android 4.1 ～ 5.0※

※ バージョン4.0以前からバージョンアップした端末は非対応です。

▼ テレビ、チューナー

動作確認機器は、弊社ホームページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/dtcpip/

▼ 本製品の USB ポートにつながる機器

動作確認機器は、弊社ホームページをご覧ください。

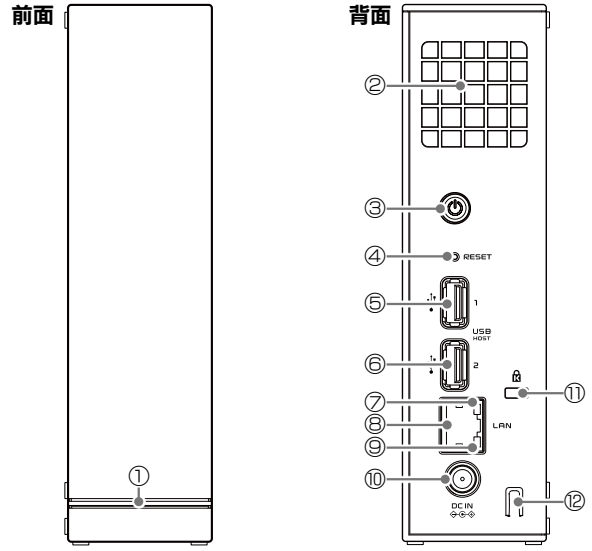
http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_hdd.htm

本製品の設定画面を開く際に必要なWebブラウザー

・Internet Explorer バージョン7 ～ 11
・Safari バージョン3.0 ～ 7.1
※一部の設定は、テレビに搭載のWeb ブラウザーに対応しています。

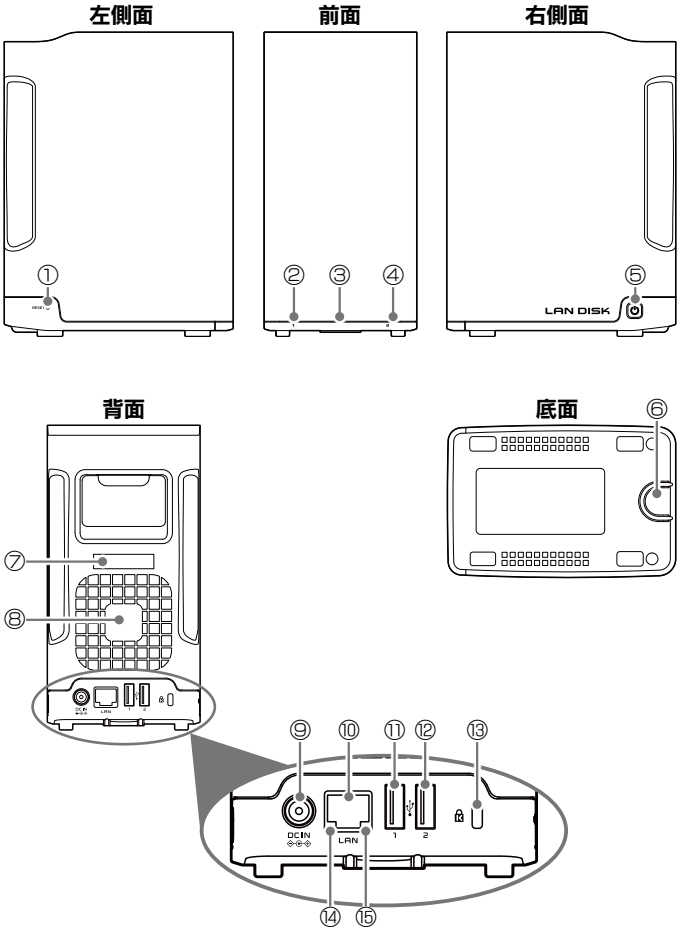
各部の名前・機能

1ドライブモデル



①STATUSランプ	【ランプ表示一覧】内【▼ランプの表示】をご確認ください。
②ファン	本製品全体を冷却します。ふさがないでください。
③電源ボタン	本製品の電源を入/切します。 エラー発生時のSTATUSランプの赤点灯やブザーは、電源ボタンを短押しすると止まります
④RESETボタン	本製品のIPアドレスと管理者パスワードのみを出荷時設定に戻します。 詳しくは、『画面で見るマニュアル』参照(32ページ)
⑤USBポート1 ⑥USBポート2	USB機器を接続します。
⑦Link Speedランプ	橙点灯：1000BASE-Tで接続中 緑点灯：100BASE-TXで接続中 消灯：10BASE-Tで接続または未接続
⑧LANポート	添付のLANケーブルを接続します。
⑨Link/Actランプ	点灯：Link状態 点滅：Act状態
⑩DCジャック	添付のACアダプターを接続します。
⑪セキュリティースロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。
⑫ケーブルフック	ACアダプターの抜け防止用フックです。引っ掛けて使います。

2ドライブモデル



<table>
<tr><td>①RESETボタン</td><td>本製品のIPアドレスと管理者パスワードのみを出荷時設定に戻します。
※詳しくは、『画面で見るマニュアル』参照(32ページ)</td></tr>
<tr><td>②HDD1 エラーランプ
③STATUSランプ
④HDD2エラーランプ</td><td>【ランプ表示一覧】内【▼ランプの表示】をご確認ください。</td></tr>
<tr><td>⑤電源ボタン</td><td>本製品の電源を入/切します。
エラー発生時のSTATUSランプの赤点灯やブザーは、電源ボタンを短押しすると止まります。</td></tr>
<tr><td>⑥ケーブルクランプ</td><td>添付のACアダプターのケーブルを、本製品底面の溝に沿わせるように引っかけて使います。
※ケーブルは、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張らないでください。</td></tr>
<tr><td>⑦S/Nシール</td><td>本製品のシリアルナンバーが記載されています。</td></tr>
<tr><td>⑧ファン</td><td>本製品全体を冷却します。ふさがないでください。</td></tr>
<tr><td>⑨DCジャック</td><td>添付のACアダプターを接続します。</td></tr>
<tr><td>⑩LANポート</td><td>添付のLANケーブルを接続します。</td></tr>
<tr><td>⑪USBポート1
⑫USBポート2</td><td>USB機器を接続します。</td></tr>
<tr><td>⑬セキュリティースロット</td><td>盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。</td></tr>
<tr><td>⑭Link Speedランプ</td><td><table><tr><td>橙点灯</td><td>1000BASE-Tで接続中</td></tr><tr><td>緑点灯</td><td>100BASE-TXで接続中</td></tr><tr><td>消灯</td><td>10BASE-Tで接続または未接続</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>⑮Link/Actランプ</td><td><table><tr><td>点灯</td><td>Link状態</td></tr><tr><td>点滅</td><td>Act状態</td></tr></table></td></tr>
</table>

ランプ表示一覧

STATUSランプ	緑点灯	正常に使用可能な状態であることを示します。
	緑点滅	システムが起動中、またはシステム設定処理を行っている状態であることを示します。 ※システム処理中は同時に他の設定の変更を行うことはできません。 ※ディスクに対する操作（フォーマット）の実行中は、共有サービスが停止しており、共有フォルダーのファイルにアクセスすることはできません。
	緑点滅（ゆっくり）※1	新しいファームウェアバージョンが存在していることを通知しています。 ※ 本製品がインターネット接続環境につながっている必要があります。
	橙点灯	スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画中、またはDTCP-IP対応機器からのダビング中であることを示します。
	赤点灯※2	USBハードディスクの接続失敗など、エラーが発生したことを示します。『画面で見るマニュアル』をご覧ください。（32ページ）
	赤点滅	本製品にとって重大な問題が発生していることを示します。設定画面をご確認のうえ、『画面で見るマニュアル』をご覧ください。（32ページ）
	消灯	本製品の電源が入っていないことを示します。
HDD1/HDD2エラーランプ	赤点灯	対応する内蔵ディスクが接続されていません。
	赤点滅	対応する内蔵ディスクに問題が発生しています。
	消灯	対応する内蔵ディスクは正常に動作しています。

※1 ファームウェア更新の通知を示すSTATUSランプの緑点滅（ゆっくり）は、電源ボタンを短押しすると止まります。

※2 軽微なエラーの発生を示すSTATUSランプの赤点灯は、電源ボタンを短押しすると止まります。

ブザー

▼ 状態通知

2ドライブモデルのみ

状態・操作	ブザー	STATUS	HDD(1,2)	説明
電源投入後	ピポ	緑点滅	消灯	システム起動中です。
	ピピピ ×∞	赤点滅	消灯	システム起動不能状態です。いったん電源を切り、再度同じ状態の場合は、修理を依頼してください。
システム起動直後	ピー	緑点灯	消灯	正常起動完了です。
	ピー ×3	緑点灯	消灯	IPアドレスの取得に失敗しました。固定のIPを設定するか、本製品を接続したルーターが正常に起動していることを確認後、再度電源を入れなおしてください。
使用中	ピー ×3	赤点灯	消灯	本製品でエラーが発生したことを示します。本製品の「ログ表示」を確認してください。
	ピー ×10	赤点滅	(片方のみ) 赤点滅	赤点滅したHDDに問題が発生し、RAIDを構成できていません。設定画面をご確認の上、HDDを交換してください。[【内蔵HDDの交換方法】(43ページ)参照]
			(1,2共に) 赤点滅	RAIDが崩壊しました。RAIDの再構成が必要です。『画面で見るマニュアル』の【内蔵HDDに異常が発生した場合】をご覧ください。
	ピッ ×3	緑点灯	消灯	リビルドが完了しました。
	ピー ×∞※	赤点滅	消灯	本製品のFANが故障したか、本製品の温度が異常になりました。※安全のため、5分程度で本製品の電源が自動的に切れます。
設定完了時	ピッ	緑点灯	消灯	設定変更が完了しました。

※ 電源ボタンを押すと、ブザーが停止します。(押し続けないでください)

ブザー

▼ USB 機器をつないだ場合

状態・操作	ブザー	STATUS	説明
USB機器接続直後	ピー×3	赤点灯	本製品で使えないUSB機器をつないでいます。
デジカメコピー実行中	−	緑点滅	デジカメコピーを実行しています。
デジカメコピー終了	ピッ×3	緑点灯	デジカメコピーが正しく終了しました。
デジカメコピー異常終了	ピー×3	赤点灯	デジカメコピーが異常終了しました。
バックアップ終了	ピッ×3	緑点灯	バックアップが正しく終了しました。
バックアップ異常終了	ピー×3	赤点灯	バックアップが異常終了しました。

※ 電源ボタンを押すと、ブザーが停止します。（押し続けないでください）

内蔵HDDの交換(2ドライブモデルのみ)

内蔵HDDに異常が発生した場合は、お客様ご自身で内蔵HDDを交換することができます。
以下の内容を充分にご理解の上で、慎重に作業をおこなってください。

作業の前に

- RAIDモードをRAID 0 (ストライピング) でご利用の場合、以下手順をおこなってもデータの復元はできません。
- バックアップが可能な場合は、必ずデータをバックアップした上で作業してください。
- 交換用HDDをお手元に準備してください。交換用HDDは必ずオプション品の交換用HDDをご使用ください。
  オプション品の交換用HDDについては、【2ドライブモデルのオプション品】(4ページ) をご確認ください。
- プラス(+)ドライバーをご用意ください。作業に必要です。
- 故障していない内蔵HDDを交換した場合、すべてのデータが失われます。故障したドライブ番号を間違えないように充分ご注意ください。

内蔵 HDD を交換する

1 異常が発生した内蔵HDDの番号をメモする

※ランプの表示で確認できます。
【ランプ表示一覧】(40ページ) をご覧ください。

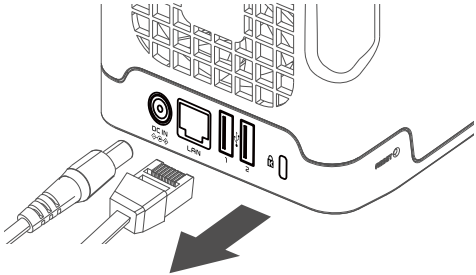
【ご注意】HDDを間違えないように充分ご注意ください

異常がないHDDを交換した場合、すべてのデータが失われます。

2 ピッと鳴るまで電源ボタンを押し続け、電源を切る

※電源の切り方は、【電源を切るときは】(10ページ) をご覧ください。

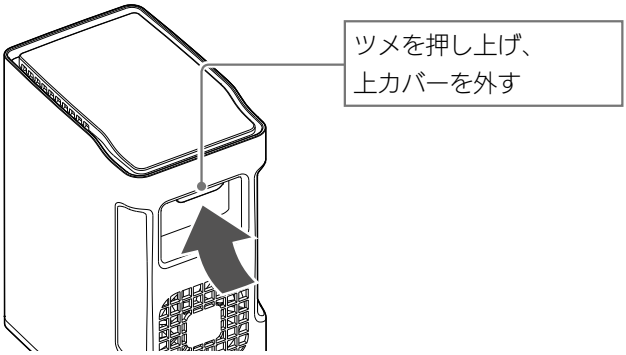
3 すべてのケーブルを抜く



【ご注意】HDDの交換作業の前に充分に時間をおく

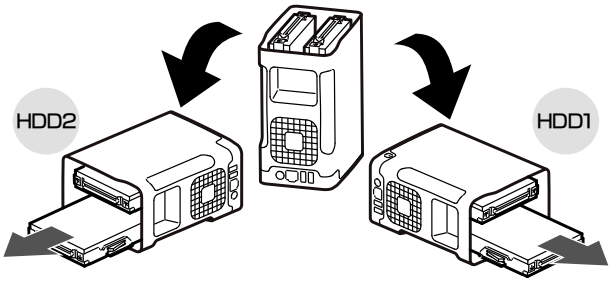
動作中や電源を切った直後は、本製品が非常に熱くなっています。充分に時間をおいて、温度が下がってから交換作業をしてください。

4



5 交換するHDDが下になるように、本製品を横に寝かせる

※本製品背面を自分に向け、右に寝かせるとHDD1 が下に、左に寝かせるとHDD2が下になります。

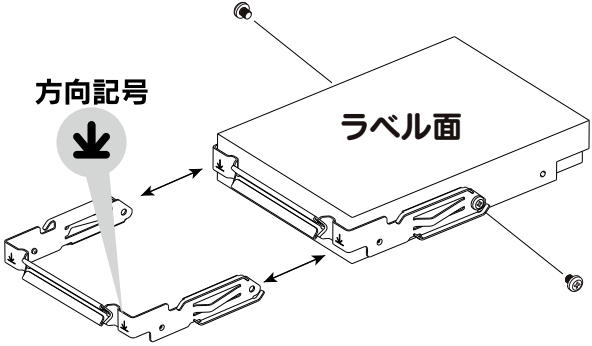


6 交換するHDDの取手金具をつまみ、引き出す

※HDDを取り出す際には、少し力が必要です。

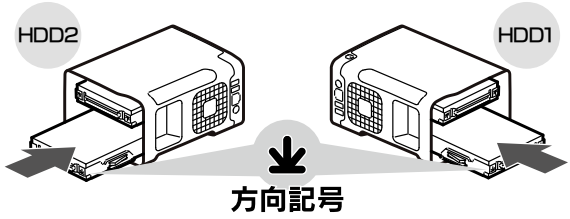
7 取り出したHDDから取手金具を外し、交換用HDDに取り付ける(ネジ2本で固定されています)

※HDDはラベル面を上に向けて置き、方向記号の矢印が下向きになるように取手金具を取り付けます。

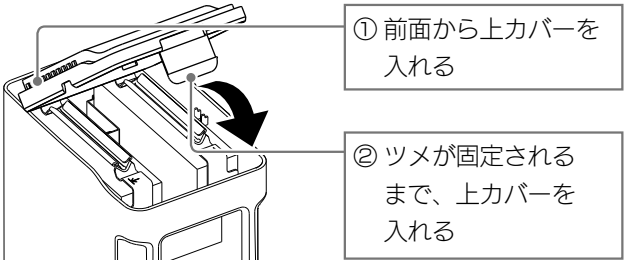


8 方向記号の矢印を下に向け、交換用HDDを本製品に差し込む

※向きが逆になっている場合、本製品が破損するおそれがあります。



9 本製品を起こし、上カバーを取り付ける



これで内蔵HDDの交換は完了です。
この後、再度ケーブル類を取り付け、電源を入れます。

RAID 1（ミラーリング）でご利用の場合

自動的に修復作業（リビルド）が始まります。現在の構築状態は、詳細設定画面上から確認することができます。詳細設定画面左側の［ディスク状況］→［状態］が「正常動作」となれば構築完了です。
※RAID構築までの所要時間は、2Tバイトモデルで約3時間です。
製品の容量に応じて、およそ比例した時間を必要とします。
お使いのモデルにあわせ目安としてください。（ネットワークに本製品を接続し、ファイル共有などの操作をしない状態で測定した値です。）

RAID 0（ストライピング）でご利用の場合

本製品の詳細設定画面からフォーマットしてください。
フォーマット方法は、『画面で見るマニュアル』をご覧ください。
（32ページ）

お守りください

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼危険・警告・注意表示

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負う危険が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

	禁止
	指示を守る

⚠ 危険

本製品を修理・改造・分解しない
火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使わない
火災・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。

故障や異常のまま、つながない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、火災・感電・故障の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
火災の原因になります。

本製品の小さな部品（ネジなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてからおこなう
電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
そのまま使うと火災・感電の原因になります。

電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

ACアダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない
電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない
発火、発熱の恐れがあります。

電源コードやACアダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線(電気の流れるところ)が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

添付のACアダプターや電源コードは、他の機器につながない
発火や感電の原因になります。
添付のACアダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない
発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量（「1500W」などの記載）を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。
特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛けると、けがの原因になります。

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない
本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

使用上のご注意

- NTFSフォーマットのUSB HDDを接続し、共有モードで使用する場合、NTFSの各種属性(暗号ファイル、圧縮ファイルなど) には、対応しておりません。
- 詳細設定画面で表示されるHDDの使用領域とWindowsからネットワークドライブに割り当てしてプロパティから見た使用領域の値は大きく異なります。本製品で使用するファームウェアの表示における仕様で、HDD側には問題はありません。
- WindowsとMac OSで共有する場合、Windows上から見ると、見覚えの無いファイルやフォルダーが見える場合があります。これは、Mac OSで、ファイル(フォルダー) を作成した際に、他に別のファイル(フォルダー)が作成されるためです。このファイル(フォルダー) には、Mac OSユーザー用の必要な情報が書き込まれていますので、削除しないでください。
- 本製品にACアダプターと電源コードを接続してから、電源を入れる際は5秒以上お待ちください。
- 本製品は、DHCPサーバーがある環境では、自動的にDHCPサーバーよりIPアドレスが割り当てられるため、本製品のIPアドレスを設定する必要はありません。ただし、DHCPサーバーのない環境(パソコンにそれぞれ固定のIPアドレスを設定している環境) では、ネットワークに応じたIPアドレスを設定する必要があります。
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。また、インターネット経由でのアクセスにつきましては、「Remote Link 3」のみの動作保証となります。本製品にグローバルIPアドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をおこなってください。
- 同じネットワークに本製品を複数台導入する場合は、本製品の[IPアドレス] を別のものに変更する必要があります。

●複数のパソコンを接続する場合は、ハブ(ルーターなど)が必要となります。
●無線LANで接続する場合は、無線アクセスポイントと無線LANアダプターを接続したパソコンが必要となります。
●本製品の時刻を正しく合わせておく必要があります。インターネットに接続可能な環境で、起動時にタイムサーバーと同期する設定でのご使用をおすすめします。
●本製品の内蔵ディスクに非常に多くのデータが書かれている場合、本製品の起動時間が通常より数分長くかかる場合があります。
●録画中やSTATUSランプ点滅中にACアダプターを抜いたり、本製品の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
●本製品に接続するUSB HDDに複数のパーティションがある場合、本製品で使用できるのは本製品が認識可能な最初のパーティションのみとなります。
●ファイアウォールソフトをお使いの場合、本製品へアクセスできない場合があります。その場合、ファイアウォールソフト側で、137 ～ 139 番、445 番のポートにアクセス許可する設定をしてください。
●2ドライブモデルは、RAID対応LAN接続HDDです。
出荷時には、RAID 0 (ストライピング) で構成されています。
RAID 1 (ミラーリング) で利用する場合は、詳細設定画面から
RAIDモードの変更が必要です。
●2ドライブモデルでRAIDモードの変更やシステム初期化をする場合、内蔵ディスク内に保存されているデータはすべて消去されます。
事前に、必要なデータは必ずバックアップしてください。
●譲渡・廃棄の際のご注意
  • データ消去ソフト等利用し、データを完全消去してください。
  情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のためのソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめいたします。

※HDD上のソフトウェアについて
HDD上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくHDDを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

アフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（**http://www.iodata.jp/privacy.htm**）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- 画面で見るマニュアルの【困ったときには】参照
- サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

http://www.iodata.jp/support/

それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3025
※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）

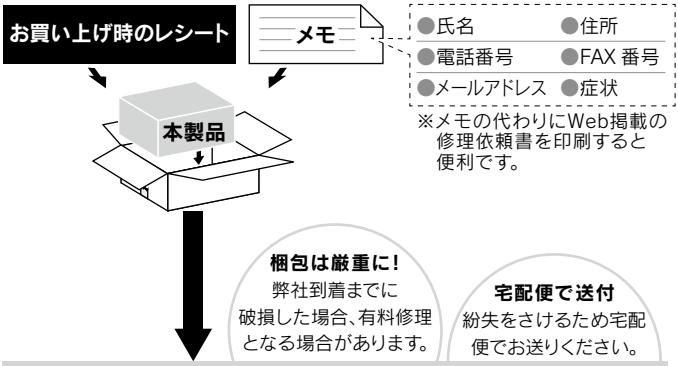
FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

＜ご用意いただく情報＞
製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。
  何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。
  弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください
http://www.iodata.jp/support/after/

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より12ヶ月無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1) レシートや納品書に記載されたご購入日から12ヶ月の保証期間が経過した場合
2) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
3) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
4) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
5) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
6) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
7) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
8) 弊社が寿命に達したと判断した場合
9) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
10) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。 Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【使用ソフトウェアについて】
本製品には、GNU General Public License Version2. June 1991 に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
5) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
6) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

【マニュアルアンケートはこちら】
よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

進化する明日へ Continue thinking

株式会社 アイ・オー・データ機器
ホームページ　http://www.iodata.jp/